

## 武漢事務所週刊ニュース(2015年10月17日～10月23日)

### 軌道交通が東西湖奥地まで延びる

10月17日 湖北日報

先日、武漢臨空港経済開発区（東西湖区）は武漢地鉄集団と契約を結んだ。武漢軌道交通1号線を同区の涇河街まで伸ばし、同時に地下鉄6号線二期工事の準備作業も始める。

契約によると、1号線を東吳大道駅から涇河街まで伸ばし、新駅を三つ増やす。全て高架駅である。2018年に完成予定で、企画中の吳家山新城の出入り需要に応える。

6号線一期工事は、武漢経済開発区体育中心から東西湖区金银湖まで、全部で27駅を設け、2016年の年末に開通する見込み。昨日から開始した二期工事が、東の環湖西路駅から西の走馬嶺まで東西湖西部工業倍增示范区などの区域をカバーし、線路全長15.45キロに及ぶ。地下駅5個、高架駅4個である。

### 武漢から東京へ直航便、来週火曜から

10月22日 湖北日報

3年ぶりに、武漢から東京への直行便が復活する。27日から武漢-東京への航路を開通する。

このフライトスケジュールでは、毎週火・金で往復一便、北京時間8時20分に武漢天河航空から出発、日本時間13時30分に東京

成田航空に到着、約 4 時間のフライトである。

往復チケット料金 2417 元 (税別)。料金はその他の乗継と変わらないが、上海などへの乗継は必要ない。

国際空港は 2011 年 8 月に、武漢から東京への直行便を開通したが、一年後には利用者が少ないという理由で廃止されていた。近年、中部旅客の日本旅行ブームとなり武漢から名古屋・静岡への 2 本の直行便では、乗客率が 80%を超えている。